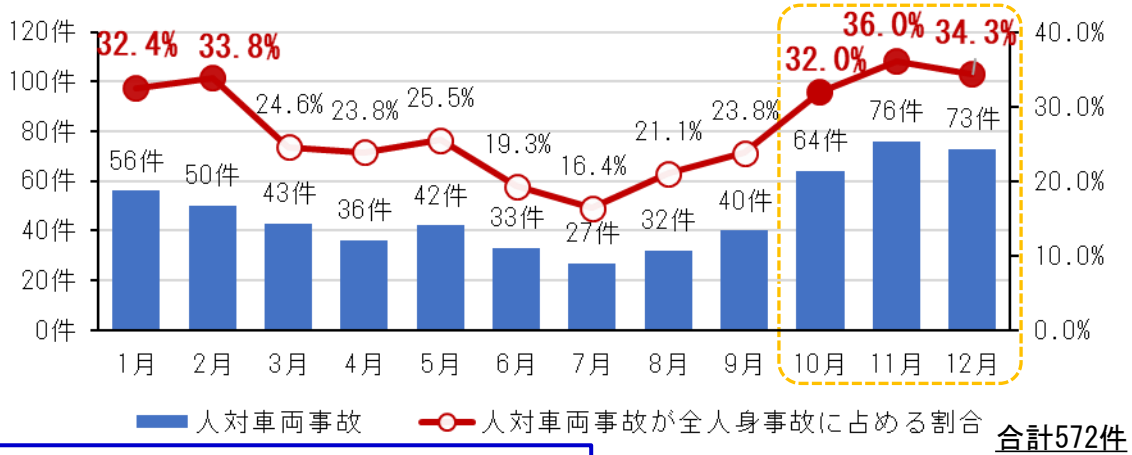
夕暮れ時から夜間に多発する歩行者との事故

～ 過去５年間（R２～R６）の死亡・重傷事故データから ～

過去５年間の人対車両事故の死亡・重傷事故を月別に見ると、10月以降に増加する傾向であり、10月～12月は全死亡・重傷事故の３割超を人対車両事故が占めています。

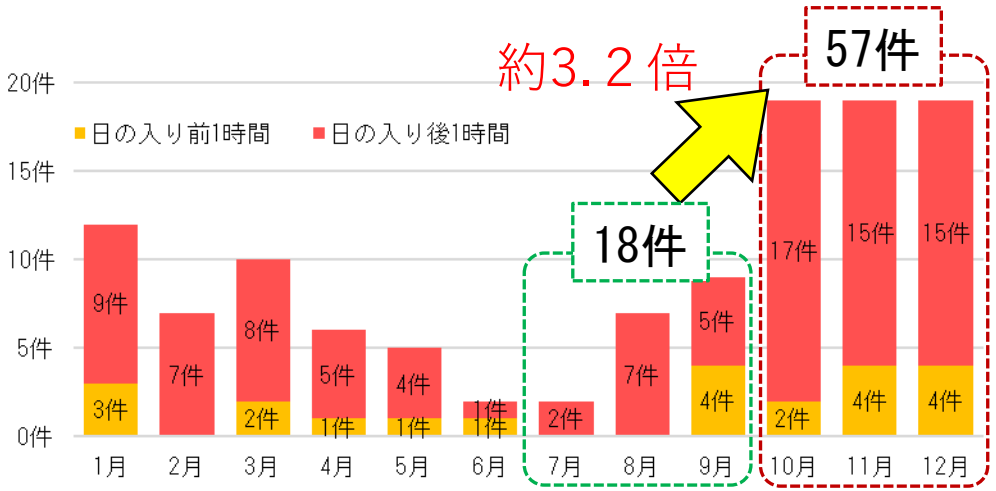
特に、薄暮時（日の入り時間の前後１時間）における人対車両事故は、10月～12月は７月～９月と比較して約3.2倍発生しており、中でも日の入り後１時間に多く発生しています。

≪ 人対車両事故の月別発生状況（死亡・重傷事故） ≫



合計572件

≪ 月別・薄暮時の人対車両事故（死亡・重傷事故）≫



合計117件

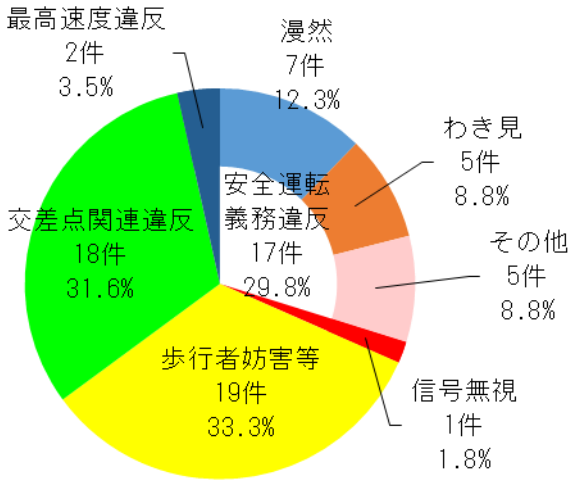
≪ 死亡・重傷事故 ≫

	７～９月		10～12月
人対車両事故	99件	約2.2倍	213件
うち薄暮時	18件	約3.2倍	57件
うち日の入り後１時間	14件	約3.4倍	47件

人対車両事故（死亡・重傷）
～ 10月～12月・薄暮時間帯（日の入り前後１時間）～

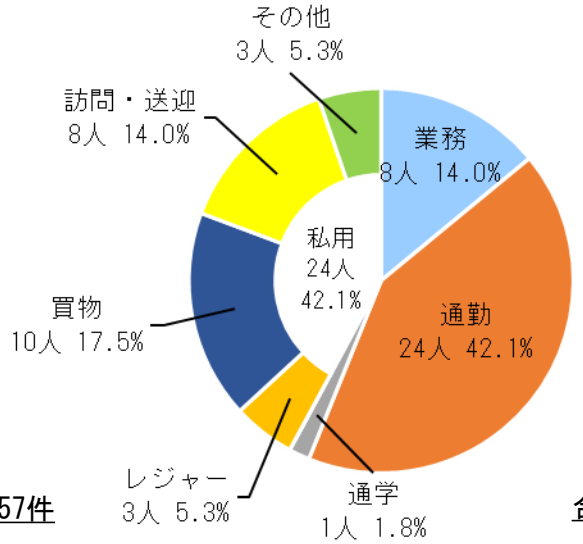
～ 過去５年間（R２～R６）の死亡・重傷事故データから ～

≪ 運転者の違反 ≫



合計57件

≪ 車両運転者の通行目的 ≫

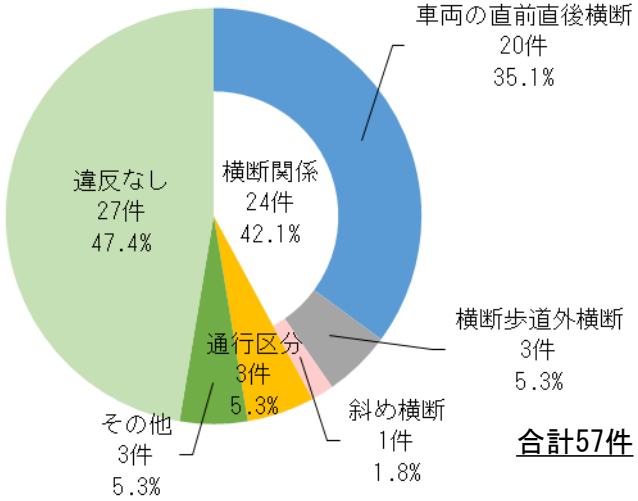


合計57件

人対車両事故の車両運転者は、退社や業務（帰社等）時の事故が多くなっています。

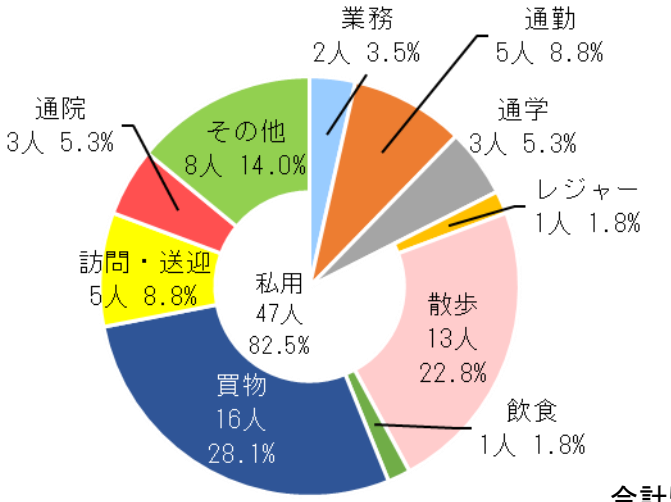
また、運転者の原因では、横断歩道における「横断歩行者妨害」や「交差点関連の違反」が多くなっています。

≪ 歩行者の違反 ≫



合計57件

≪ 歩行者の通行目的 ≫



合計57件

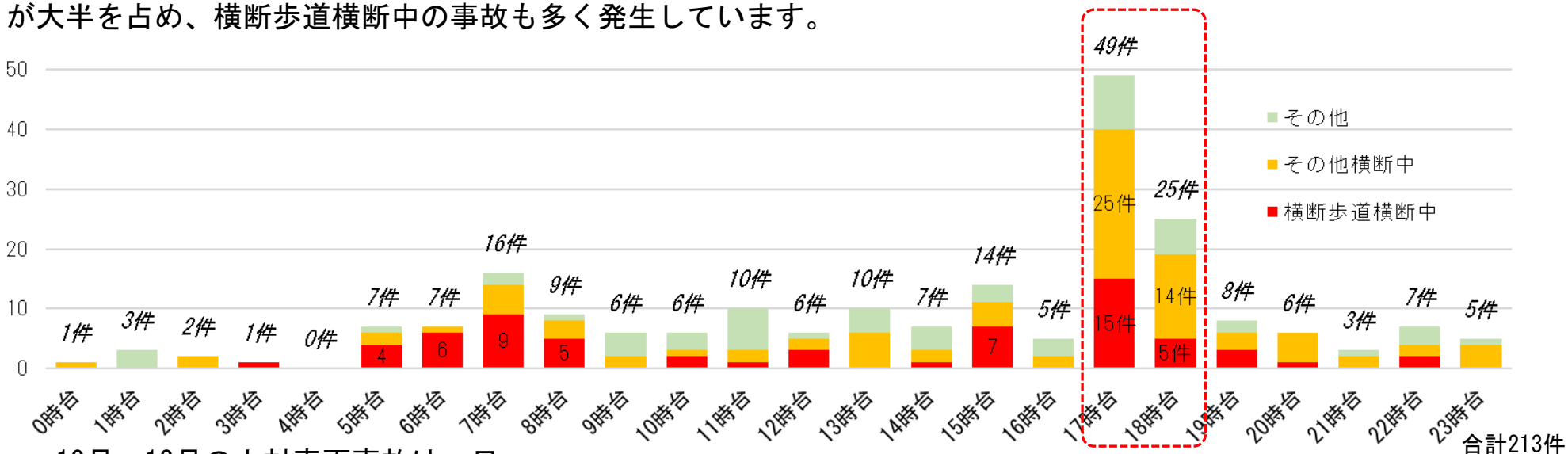
人対車両事故の歩行者は、買物や散歩時の事故が多くなっています。

また、歩行者の半数以上に何らかの事故原因があり、特に道路横断時の「車両の直前直後横断」が原因での事故が多くなっています。

人対車両事故（死亡・重傷）
～ 10月～12月・17時～19時台 ～

～ 過去５年間（R２～R６）の死亡・重傷事故データから ～

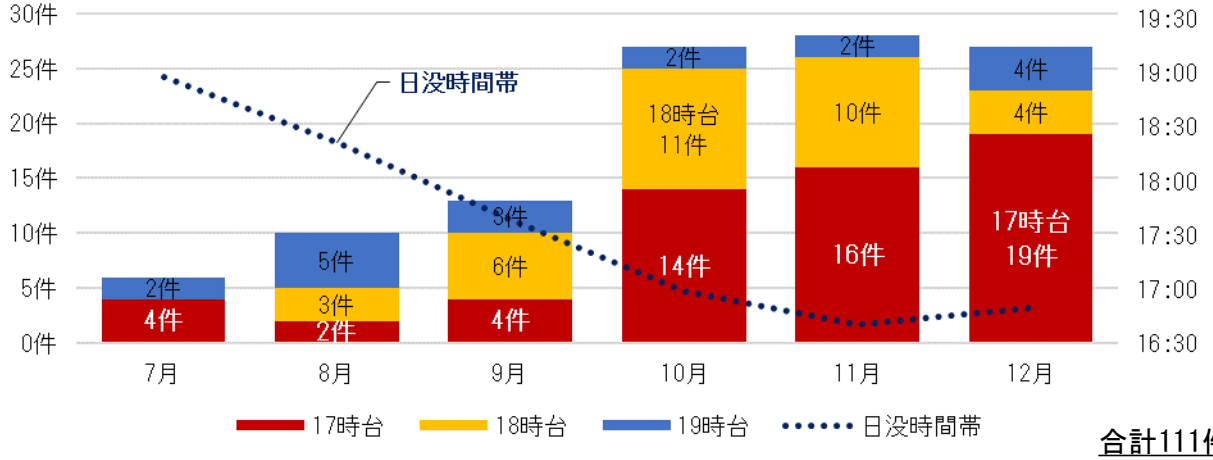
10月～12月の人対車両事故は、17時台・18時台が最も多く発生しています。これらの時間帯は道路横断中の事故が大半を占め、横断歩道横断中の事故も多く発生しています。



合計213件

10月～12月の人対車両事故は、日没時間の早まりと比例して、夕暮れ時から夜間の事故が多発する傾向があり、特に17時台に多く発生しています。

≪ 17時台～19時台における人対車両の死亡・重傷事故件数 ≫



合計111件

薄暮時間帯の交通事故の特徴等

◆　10月から12月は、薄暮時間帯（日の入り時間の前後１時間）における人対車両の死亡・重傷事故が多発傾向にあり、７月から９月と比較して約3.2倍の発生
　特に、『日の入り後１時間』は、７月から９月と比較して約3.4倍の発生

◆　薄暮時間帯における人対車両の死亡・重傷事故のうち、運転者は「横断歩行者妨害」、「漫然運転」、「交差点関連違反」による事故が多い。また、歩行者の半数以上に何らかの事故原因が見られる

◆　運転者は退社や業務（帰社等）時の事故が多く、歩行者は散歩や買物時の事故が多い

◆　日没時間の早まりと比例して、10月以降は夕暮れ時から夜間の事故が多発する傾向にあり、特に17時台に発生が多い

≪　運転者の皆さんへ　≫

●早めのライト点灯

日没30分前を目安に、早めにライトを点灯させましょう。

●ハイビームの活用

夜間、先行車や対向車がいない場合はハイビームを活用し、歩行者や自転車を早めに発見できるようにしましょう。

≪　歩行者の皆さんへ　≫

●『明るい服装』と『反射材』着用の徹底

夕暮れ時や夜間に外出する際は、明るい服装で、必ず反射材を身に着けましょう。

●『止まる』『見る』『待つ』『確かめる』の徹底

道路を横断するときは一度立ち止まり、左右の安全を確実に確認しましょう。